

ユーラシアを歩く会 行動報告書

The Trans-Eurasia Walking Journey Program

1. 計画コース概要

提出日: 2011 年 11 月 11 日

地域分類	日本	区間番号	東部第 5 区間
実施期間	2011 年 11 月 1 日～11 月 3 日		
計画区間	出発地 笹子駅	到着地 南大沢	参加人数 5 名

2. メンバー表

No	役割・分担	氏 名
1	リーダー	住山 茂
2		甲田征三
3		甲田みつえ
4	会計係	山崎 隆
5	記録係	横山泰一

3 日目橋本からの参加者

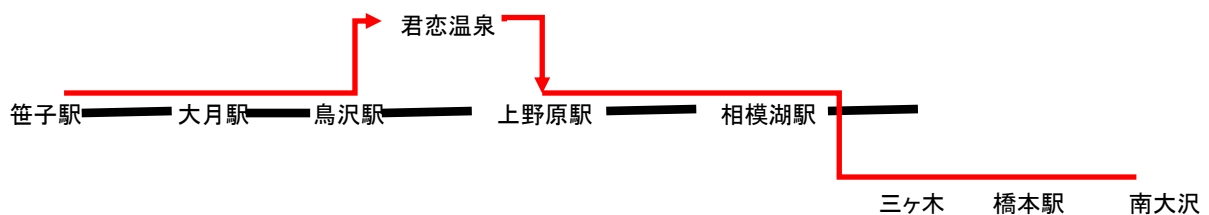
土屋さん、篠崎さん（お孫さん達 2 人）、大河原さん、安藤さん、宇賀村さん奥さんと娘さん、新井さん、高見沢さん、生和多恵子さん、佐藤さん、坂本さん

3. 現地での歩行結果

	年月日	出発～到着	区間距離 Km	天候	気温 最低／最高
1 日目	2011/11/1	笹子～大月～鳥沢～君恋温泉	24	晴れ	約 20 度
2	11/2	君恋温泉～上野原～相模湖～三ヶ木	31	晴れ／曇り	約 20 度
3	11/3	三ヶ木～橋本～南大沢	22	曇り	約 20 度

注) 区間距離は歩数と歩幅からの推定値で合計 87km。公式距離(計画)は 65Km。

区間概念図



4. 見聞録

ルート of 状況

11/1

笹子駅に集合し、歩行開始 (8:40) 国道 20 号線沿いに歩く。

9:27 白野中宿

10:09 山本周五郎生家

11:14 下花咲本陣跡

11:30 大月 蕎麦屋で昼食
 13:38 猿橋 猿橋を見物
 14:30 鳥沢駅 下鳥沢宿から県道 30 号線をとことろ甲州古道を拾い歩いた。
 15:46 旧甲州街道の石畳
 16:00 君恋温泉 宿泊

11/2

7:40 宿出発
 8:04 犬目宿 平助の墓見物
 8:30 座頭ころがし 甲州古道の難所
 9:11 西光寺
 9:22 野田尻宿 本陣跡、明治天皇御小休所跡
 10:48 鶴川宿 ここから国道 20 号線を藤野駅まで
 12:00 藤野駅 昼食
 甲州古道を相模湖へ
 15:08 相模湖 相模湖から三ヶ木までは「関東ふれあいの道」などを歩いた。
 17:10 三ヶ木バスセンター バスで橋本へ。
 18:00 橋本着 宿泊する人と一時帰宅する人に分かれた。

11/3

6:50 橋本駅集合 バスで三ヶ木バスセンターへ
 7:35 三ヶ木出発
 8:56 三井大橋
 11:30 橋本駅 昼食
 12:00 橋本駅北口でここから歩く人と合流
 13:46 南大沢（首都大学東京 91 号館横）到着

上野原から藤野までの国道 20 号は歩道のない曲がりくねった道路で大型車の通行も多く、怖い思いをした。その他は、県道や古道をのんびりと歩け、ところどころ古い出桁（でばり）造りの木造家屋や本陣跡など昔の街道の面影や一里塚などを楽しめた。なるべく国道を避け、古道を拾い歩いた関係で歩行距離が長くなった。

自然環境

笹子川、桂川など西から東に流れる川沿いの甲州街道に沿った地域。南斜面は日当たりがよくサトイモやコンニャクの産地で、カキやミカンもところどころ見事な実をつけていた。

人々の生活

サトイモの茎をむいて干している（芋がら、ずいき）人々の姿をよく見かけた。

食べ物・酒・その他

里芋とこんにゃく
 日本酒 純米吟醸「ささいち」笹一酒造

観光

白野宿、鳥沢宿、鶴川宿などの街並み、2 階に手すりの付いた出桁造りの家、下花咲宿の本陣、猿橋、JR 鳥沢駅舎、犬目平助の墓、甲州古道「座頭ころがし」、石畳の道など

5. 人々との交流の記録

里芋の茎をさいているお母さん
鶴川宿の街並みを紹介していただいたおじいさん

6. 健康・安全面の記録

途中起きたばかりの交通事故を目撃、国道歩きには神経を使い、横断歩道以外で横断してお巡りさんに注意された。

7. 総費用／円

個人 *)	交通費	4,290
	宿泊費	7,500(君恋温泉) 6,000(橋本)
	食費	10,000
	その他	500
	合計	28,290

*) 横山の例

グループ		
	合計	

8. 記録写真・ビデオなど



笹子駅をスタート



すぐに笹一酒造に寄り道



白野宿の街並み



山本周五郎生誕の家



下花咲の本陣



猿橋



上鳥沢宿



懐かしい駅舎



下鳥沢宿



道祖神



君恋温泉入口



温泉宿の玄関が本日のゴール。控え目な玄関で、探すのに少し手間取った。



夕食は里芋とコンニャクがメイン



笹子で購入した日本酒



看板「日本一富士山が見える宿」に偽りなし。



これから 2 日目の歩行スタート



犬目村の兵助の墓



座頭ころがし この先が急坂

天保 7 年(1838 年)の大飢饉の際、犬目村の兵助達が甲州一揆を起こした。一揆後、兵助は日本国中を逃亡し、晩年はこっそりと犬目村に帰り、役人の目を逃れて隠れ住んだと言われている。



野田尻宿



里芋の茎を干している。



大柵宿

鶴川宿の老人「出桁造りの家もここだけになってしまった」と語ってくださった。



鶴川橋



相模湖



2日目の歩行の終着地、三ヶ木バスセンターに到着。タイミングよくバスが来たのであわてて到着の証拠写真を撮影。



最終 3 日目のスタート(三ヶ木)



三井大橋 歩行者用の立派なつり橋を建設中



橋本駅でここから歩行に加わる人々と記念写真



もうあと少し、元気が出る。



首都大学東京 91 年館の横に到着



会場への歩行